

## 4 . 水田貯留機能増進・地下水かん養に関する項目

### ( 1 ) 水田の貯留機能向上活動

- ・ 大雨時の水田からの排水を調節するため、水田の落水口に排水調整板の設置等を行うこと。
- ・ 大雨時の水田の貯留効果を向上させるため、畦畔の嵩上げ等を行うこと。

#### 【活動のねらい】

水田は、農業生産以外に降雨を一時的に貯留する役目を果たしています。

さらに、畦畔のかさ上げを行うことにより、雨水の貯留量を増加させることが可能となり、水田の雨水貯留機能の増進が図られます。

#### 【活動の内容】

貯留機能の向上の方法には次の2つが考えられます。

排水口に排水調整板を設置する方法

排水口に排水調整板を入れ、排水管の口径を小さくすることにより、水の流出を遅れさせることができます。

また、排水止水板を設置し、貯留量を調整する方法もあります。

畦畔の高さを上げる方法

畦畔をかさ上げすることにより、貯留量が増加し、水の流出を遅らせることができます。

#### 【配慮事項】

畦畔のかさ上げの高さが不揃いにならないように注意する必要があります。

## 【水田の持つ貯留機能向上活動】

### ～活動例 1～

#### ・活動対象

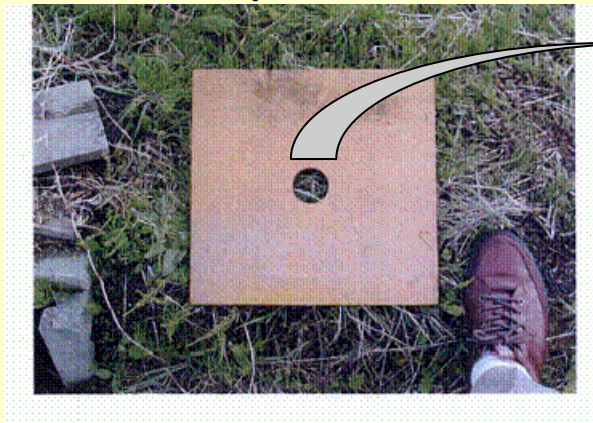
河川に排水する流域内水田で、487ha<sup>( )</sup>のうち、  
 初年度実績 244ha(上流 177ha:設置率 50%、下流 66ha:設置率 59%)、  
 次年度実績 269ha(上流 169ha:設置率 48%(注:調査のため約 10ha の未実施ブロック  
 を設置)、下流 100ha:設置率 76%)

( ) ほ場整備により排水柵を設置したほ場で協力可能な流域内水田面積

#### ・活動内容

本地区の下流の市街地は、河川沿岸にあるが、洪水の常襲地帯であるため、上流に位置する本地区の水田の貯水機能を向上させることにより、下流域の洪水被害を軽減させる対策とすることとした。

対策の方法は、写真に示すように排水口に調整板を設置し、水田からの排水を遅くすることとした。



排水調整板



排水調整板設置状況

### ～活動例 2～

#### ・活動対象

水田 (121ha)

#### ・活動内容

洪水被害を防ぐために、排水口に排水止水板を設置し水田からの排水量を抑制しました。水害多発地帯(特に昭和 25 年の大水害では堤防が決壊)ということもあり、水田にできるだけ水を貯めて排水量の調整を実施しています。ほ場整備の段階で水田からの排水量を抑えるよう排水口径を抑制している地区もあります。



～ 活動例 3 ～

・ 活動対象

水田 ( 34ha )

・ 活動内容

畦畔をかさ上げするとともに、排水止水板を設置し、水田からの排水量を抑制しています。輪中地帯であり、古来より湛水被害に悩まされてきたことから、水田の貯水機能を発揮するよう心がけている。



排水止水板